

連合福島「2014 春季生活闘争」特別研修会

すべての働く者の処遇を改善し、 底上げ・底支え・格差是正を実現しよう！

～今こそ賃上げ、デフレから脱却～

連合福島は春季生活闘争の取り組みを前に「2014 春季生活闘争特別研修会」を2月6日福島市の福島テルサにて開催した。研修会には県内の連合傘下の構成組織から約180名が出席した。

冒頭、主催者を代表して影山道幸連合福島会長は「労働組合として、その真価と力量が問われる『2014年春季生活闘争』がスタートした。ここ数年にない、追い風が吹く中での闘いである。社会が、すべての働く仲間が、連合の行動に、熱い視線を注



取組報告する谷事務局長



取組報告する伊藤議長



取組報告する関根議長

主催者を代表して挨拶する影山道幸連合福島会長
ぎ、大きな期待を寄せている。月例賃金にこだわり、非正規労働者の処遇改善をはかり、『働くことを軸とする安心社会』の実現を求め、社会の期待に応える結果を求めて行かなければならない。連合福島に結集する全ての構成組織が全勢力を傾注して、要求実現のため共に頑張ろう。」と決意を述べた。

次に各構成組織を代表して、自動車総連福島地方協議会 谷 賢幸事務局長、JP労組東北地本福島連絡協議会 伊藤 茂雄議長、ゴム連合福島県協議会 関根 新議長から、2014年春季生活闘争に対する取り組み方針や決意が表明された。

引き続き開催された講演会では、厚生労働省福島労働局 河合 智則局長から「福島県の雇用労働情勢について」というテーマで、福島県内各地の人口状況や有効求人倍率、更には震災復興に向けた地域雇用対策等について、詳細な資料に基づいて判りやすく説明がなされた。

最後に影山会長の力強い団結ガンバローで、春闘勝利に向けて氣勢を上げて研修会は閉会となった。



講演する河合智則福島労働局長